

1. 平成27年度事業報告

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

I 総括

会長職1期の2年目が終了した本年度（平成27年度）の一番の事業活動は、何といっても周年記念大会であった。JNB10周年・NBC30周年「第11回JNB新事業創出東京フォーラム」の開催内容については、平成27年1月15日に「第1回プロジェクト委員会（JNB池田会長がプロジェクト長、下村が副プロジェクト長）」を皮切りに、実行委員会（東京NBC理事中心）との合同会議を計10回開催した。企画・集客・収支予算・告知・当日の運営など、一つ一つの内容を組み立て、その進行状況を確認しつつ、参加者3,000名が目標となった。また、本年度は、例年の全国フォーラムの開催だけでなく、両団体の周年記念式典も加わり、歴代会長や功労者の皆様のご出席は勿論のこと、高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎお言葉を賜るという大変栄誉ある式典企画であった。宮内庁には2年前から、本フォーラムの主旨や過去の状況を説明しつつ、開催日時や会場のご案内とご臨席のお願いを行った成果が実った。

結果、「ニッポンの未来を創れ！起業家スピリッツ！」のテーマの下、開会式から続くパネルディスカッション等に約1,600名、記念式典から交流会には約2,500名の参加者があり、延べ人数では4,000名を超える大会となり成功裏に終えることができた。これも一重に、JNB正副会長のご支援ご協力もさることながら、東京NBCの理事の皆様、会員の皆様の東京フォーラムに懸ける熱い思いの賜物であると、改めて厚く御礼申し上げます。

また、「NBCグランドプレゼンテーション」と称した東京NBCの代表的な3つの事業活動を、1事業3名の会員が壇上で、自らの言葉で実体験に基づく活動内容を語る企画は大変好評を博し、正に起業家、中小・ベンチャー企業の集団「東京NBC」ここにありと、その存在意義を十分に示すことができ、新たな会員の入会にも繋がっている。

勿論その他の事業として、様々な委員会活動を通じた「学び」「交流」を促進し、更に継続する「起業啓蒙活動」（大学での会員による出前授業や夏休み女子高生の企業訪問等）や「セカンドキャリア創業支援塾」（塾生1名に東京NBC会員3名がメンターとして指導）を開催している。また「第1回国際女性起業家フォーラム」（東京NBC女性会員と多様なミスインターナショナル世界大会2015出場者との意見交換会）の開催や、「女性の活躍推進委員会」による「女性の活躍推進に関する意識調査報告書」の作成など、一億総活躍社会には必需である「女性」をキーワードにした新たな事業活動も開催し、私自身としては、女性会長としての面目躍如になったのではないかと考えている。

最後に、経営者としての自己の成長には、経営の楽しさ・おもしろさ、そして苦しさが必要であり、自社事業の成長には、弛まぬチャレンジ・イノベーション・マネジメントが必要である。

この2つの「不可欠」は、「経営者は孤独である」といわれる環境下に自身ひとりで実践していくことは中々難しいかもしれないが、NBC会員経営者同士の連携を通じて、体得し、培って、是非「成長の果実」を掴み取ってほしいと思っている。

II 活動・事業概要

1 会務

1) 総会

①平成26年6月9日 第3回定時総会(一般社団法人東京ニュービジネス協議会)
(会場; ホテルオークラ東京)

・第1号議案 平成26年度計算書類承認の件

* JNB/NBC合同記念講演会

講師: 茂木 友三郎 氏

(キッコウマン株式会社 取締役名誉会長 取締役議長)

演題: 「100年企業のイノベーション」

②平成28年3月29日 臨時総会(一般社団法人東京ニュービジネス協議会)
(会場; 東京ニュービジネス協議会 会議室)

・第1号議案 理事選任(7名)の件

2) 理事会(主な審議事項)

平成27年 5月25日 一般社団法人東京ニュービジネス協議会 第1回理事会

・平成26年度事業報告・計算書類承認の件、

・第11回JNB新事業創出東京フォーラム主管の件

平成27年 7月16日 同 第2回理事会

平成27年 9月17日 同 第3回理事会

・第2回、第3回とも、第11回JNB新事業創出東京フォーラム開催の件

平成27年10月20日 同 (書面理事会) 第4回理事会

・新入会員承認の件

平成27年11月12日 同 第5回理事会

・次期会長選任の件

平成28年 1月 7日 同 第6回理事会

・新理事候補者選出(6名)の件

平成28年 3月 8日 同 第7回理事会

・H27年度事業計画(案)、事業予算(案)の件

・新理事候補者選出(1名追認)の件

・臨時総会の招集及び同総会に附議する議案の件

を7回開催した。

3) 正副会長会議

平成27年 5月11日 一般社団法人東京ニュービジネス協議会 第1回

平成27年 7月 6日 同 第2回

平成27年 9月14日 同 第3回

平成27年10月26日 同 第4回

*会長選考委員会（委員長；庄司副会長）による次期会長選考

平成27年12月7日	同	第5回
平成28年1月27日	同	第6回

を6回開催した。

4) 賀詞交歓会（会場；ホテルオークラ東京）

平成28年1月18日、一般社団法人東京ニュービジネス協議会、公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会との、合同賀詞交歓会を開催した。

5) その他

①JNB10周年・NBC30周年「第11回JNB新事業創出東京フォーラム」開催

毎年開催するJNB会員大会を、本年は周年記念大会も併催し「第11回JNB新事業創出東京フォーラム」を開催、開会式～パネルディスカッション～NBCグランドプレゼンテーションに約1,600名、記念式典～交流会に約2,500名の、延べ4,000名以上が参加し成功裏に終えることができた。更に記念式典には、高円宮妃殿下、菅官房長官にもご臨席頂き、JNB/NBC歴代会長や功労者の表彰が行われた。また、交流会には「ミスインターナショナル2015」の出場者世界各地のミス約80名余がお祝いに駆けつけ、大会に花を添えた。

②平成28年2月26日 新事業創造カンファレンス&Connect!

第2回日本ベンチャー大賞（内閣総理大臣賞等）表彰式とConnect!大交流会も合わせて開催され、ベンチャー創造協議会、経済産業省、JNB、東京NBCが主催する「イノベーション」等をテーマに行う大イベントである。約1,000名参加した。

③平成28年3月2日 新入会員ウエルカムパーティ開催

本年度入会者にNBCの楽しみ方等を説明後、「他己紹介」などの企画も盛り込みながら、楽しく明るい交流会を開催した。

④平成28年3月16日 第10回IPO大賞表彰式

今年で10年目を迎える同賞の表彰式が東証ホールにて開催され、NBC会員、起業に興味のある会社員、学生など約120名が参加した。

⑤平成28年3月29日 キックオフ大会2016&交流会

次年度の事業計画に基づき、下村会長の所信表明と、6部門12委員会と本部事業2プロジェクト並びに7研究部会の概略説明が行われ、終了後交流会が開催された。

⑥東京NBC会報誌「NaBiC」発刊 - 第54号（4月刊）～第65号（3月刊）

以上

Ⅲ 平成27年度 委員会・研究部会 活動実績

◆委員会		
特別委員会部門 <担当副会長:庄司 正英 ピークホールディングス(株) 代表取締役会長> (JNBとの連携活動)		
名称	委員長	活動概要
Connect! 特別委員会	剣持 忠 (株)メンバーズ 代表取締役	大企業や成功ベンチャー、ベンチャー企業、ベンチャーキャピタリスト、起業家予備軍が一同に集い、業務提携、資本提携、M&Aを含めたニュービジネス創出のエコシステムのうねりを興す交流の場「Connect!」を主宰。2/26には経産省と共催で「第2回新事業創造カンファレンス&Connect! 日本ベンチャー大賞表彰式」を開催、参加者は1,000名余であった。
IPO大賞特別委員会	熊崎 友久 (アビックス(株) 代表取締役社長)	IPO大賞表彰制度は、日本経済の活性化に貢献する経営者・企業を顕彰するもので、3/16に会場を昨年同様の東証ホールにて、第10回IPO大賞表彰式が開催された。「ルーキー部門」は、(株)Gunocy;福島社長、「グロース部門」は、会員企業でもあり過去にルーキー部門の大賞を受賞したKLab(株);真田社長に授与された。
ニッポン新事業創出大賞特別委員会	堀添 英人	JNBが主催する「ニッポン新事業創出大賞」表彰制度(第10回)に、東京NBCとして候補企業を推薦する活動。本年度は審査会が開催出来なかったが、会員企業への告知や声掛けにより、3社の推薦を行った。
企業経営部門 <担当副会長:倉橋 泰 (株)ぼど 代表取締役会長> (自社の・己の、成長のための活動)		
企業革新委員会	岡本 毅 (岡本硝子(株) 代表取締役社長)	『経営トップが変わる→従業員が変わる→会社が変わる→社会が変わる』をテーマに計6回開催した。企業訪問では新潟のアドバネクス工場や岡本硝子工場も見学、実践的な勉強会も開催した。また、「組板の鯉」では委員長自らが3回講師を務め自社の改革について語った。最後の2回は富山NBCとスカイプで同時中継し学びと交流を図る新たな試みにも挑戦した。
若手経営者委員会	堀口 智之 (和から(株) 代表取締役)	NBC会員の若手経営者(40歳未満中心)が経営力を磨き、大きく成長を遂げることが目的。テーマ毎の小委員会を開設、その担当者が自ら勉強会を企画した。例えば、先輩経営者や参加同世代経営者の実体験に基づく経営手法を共有し、自らの経営判断力を磨いた。特に「経営課題を実践的に考える会」はプレゼンターが組板の鯉として自身の企業について語り、参加者とその内容を討議する有意義な会であった。
事業創出部門 <担当副会長:田中 豊 アートグリーン(株) 代表取締役社長> (起業等に向けた啓発・公益活動)		
ベンチャー創出委員会	永瀬 俊彦 (事業創造キャピタル(株) 代表取締役社長)	経営者と学生の大規模座談会「第21回大寺子屋かいぎ」は(株)クラウドワークスの吉田浩一郎氏を招聘し開催した。5月には、「起業家寺子屋合宿-地域ビジネスを学ぶ」として新潟合宿を企画、新潟企業の訪問や起業家や新潟の大学生との交流を行った。小規模での「寺子屋かいぎ」は3回行いAIロボットペッパー君を使ったワークショップなど多彩な会を催した。
教育・人材委員会	山尾 百合子 (株)メイン 代表取締役	関係各所と連携し、2本柱である「出前社長」事業と、「インターンシップ」事業を積極的に行った。その結果、次代を担う若者に「事業創出」の魅力や必要性を示して、将来像の1つとして「起業家」を目指すきっかけを創ることを目的とした公益活動を広く示すことができた。また昨年度から文京学院女子高校の夏休みの「企業・職業研究」に協力し、今年も9社が高校生の会社訪問を受けた。
セカンドキャリア創業支援委員会	与謝野 壺 (与謝野アンブレレナー アソシオオフィス 代表)	今年度も塾生を募集し、その際には、起業支援機関から塾生推薦の協力を得られた。塾生は面接の後4名を迎え、9月から「創業塾」を開始した。塾生1名に対し創業経営者3名がメンター担当となり、月1回、計5回の個別面談と土曜日に半日の事業プレゼンオリエンテーションを実施した。2月には塾生の成果発表会及び修了式を行った。
国際部門 <担当副会長:深沢 栄治 (株)光彩工芸 代表取締役社長> (グローバル全般に係る活動)		
国際ビジネス委員会	辰野 元信 (サリカ(株) 代表取締役社長)	NBCのグローバル化事業を推進。海外で活躍する日本人起業家の成功事例勉強会、インバウンドビジネスに関する講演会、和橋会の日本人起業家の招聘等を計9回行った。また恒例の海外視察会は13名でベトナムホーチミン視察会を実施。新たな人脈を構築し、NBC会員の海外進出支援体制を整えた。
国際人財教育委員会	高橋 ゆき (株)ベアーズ 専務取締役	海外インターン運営機関「アイセック」共催「海外人材のインターンシップの戦略的活用と将来性」(12/7)やクルールジャパン機構による海外進出助成制度や事例説明会(3/25)の開催、また「グローバルチャレンジ、ワンダー・ワークショップ」のタイトル下、次世代の国際教育支援プロジェクトを開催、また第3回グローバル大賞表彰式は、10/21東京フォーラムにてJNBニッポン新事業創出大賞と同時開催となった。
政策提言部門 <担当副会長:湯川 智子 (株)サピエント 代表取締役社長> (対外的発言の活動)		
東京NBC政策委員会	山家 一繁 (株)ワイエムジーン 代表取締役社長)	国や都が行っている中小企業向け助成制度について学ぶセミナーを2回開始した。5/25では、補助金をゲットしたNBC同志から実際どうなのかを聞きだすパネルディスカッションを開催、経営革新認定・補助事業採択などの成功事例発表会とした。また2回目は、『国の補助金や融資施策をいかに活用するか!セミナー』をテーマに開催、申請のポイントや事例紹介など具体的な事例を学ぶ。
女性の活躍推進委員会	田子 みどり (株)コスモピア 代表取締役	6/22に女性の東欧に関するパネルディスカッションの第2回目を開催、10/27には「第1回国際女性起業家フォーラム」を、ミスインターナショナル2015の約80か国代表者と対談交流を英語で行った。また「下村塾」をランチミーティングで開催し、経営者の成功の秘訣を学んだ。東京都の補助事業の一環とした「女性の活躍推進に関する意識調査報告書」を作成する等、1億総活躍社会のキーワード「女性」を意識した活動を実践した。
広報委員会	坂田 生子 (松下運輸(株) 代表取締役社長)	「NaBiC」NO. 54~NO. 64を毎月配信し、Facebookにも同時掲載。「The Person of the Month」は、2006年より継続して、注目度・関心度の高い会員経営者を紹介、「リレーゲーム」は、2010年スタート以来会員交流の輪が拡大。また30周年事業で当日配布パンフレットを制作した。フジサンケイビジネスアイ紙面にて『ニッポンの未来を創れ! 起業家スピリッツ』をテーマに会員6社を掲載(イノベーションアイにも同時掲載)、会報誌「Bulletin」第145号発刊した。
会員コミュニケーション部門 <担当副会長:西村 剛敏 明成建設工業(株) 代表取締役社長> (相互交流促進、会員増の活動)		
会員ネットワーク委員会	星野 晃一郎 (株)ダンクソフト 代表取締役社長)	12/21には、サイボーズ(株)東京オフィス会議室で、「ペーパーレスから始める経営イノベーション 事例紹介 オフィス視察ツアー」のタイトル下、NBC会員相互のビジネスマッチング成功事例や、時間ダイエット(日報管理システム導入事例)、クラウドサービスを活用し2社で働く事例など、IT活用の幅広さを学んだ。
会員ソーシャル委員会	三ツ谷 佐代子 (株)ビーコムコミュニケーション 代表取締役社長)	NBCを代表する会員交流イベントとして第24回NBC夏合宿(7/11・12;60名参加)を諏訪湖湖畔で、第2回NBCチャリティゴルフコンペ(11/6;19名参加)を筑波で、NBCクリスマスパーティー2015(12/9;62名参加)を南青山で各々開催した。何れも会員同士が絆を深め、交流促進を図る事が出来た。
コアコミュニケーション委員会	中島 セイジ (株)クオーターバック 代表取締役)	定例会(講演会・懇親会)及び屋敷フォーラムの企画・運営を行った。定例会は全4回で延べ約200名、屋敷フォーラムは全7回で延べ180名程が参加した。また、2015年度新入会員を対象とした新入会員ウェルカムパーティを開催し、既存会員が新入会員を紹介するという「他己紹介」等を通じ、相互交流の促進を図る事が出来た。

◆研究部会

名称	部会長	活動概要
人間力研究部会	奥寺 邦俊 (オーエフピー㈱ 代表取締役)	「経営者は健康第一」を年間テーマに掲げ、話を伺いたい経営者等を迎え5回開催した。NBC内外の輝く経営者は、体調不良になった時に誰を頼れば良いのか、不慮に備えまず何をすべきか…。実際に大病された経営者の方々、健康コンサルタントの方々に話を聞き、「明日は我が身」と考え、自分だったらどうするか等々、を考えた。
次代創生研究部会	山田 直大 (㈱東京アート印刷所 代表取締役)	次世代として将来「これからどうしていくか」を考える会とする。第3回には企業革新委員会と共催で、石坂産業(㈱)石坂社長に、『絶体絶命でも世界一愛される会社に変える! —2代目女性社長の号泣戦記』というタイトルでお話を頂いた。第4回には「うまい棒」で有名な㈱やおきん角谷社長に出講頂き、「引き継いだ後に一番困ったことをテーマに対話形式で学んだ。
アプリマーケティング研究部会	藤田 陽司 (㈱シーティーイー 代表取締役社長)	アプリビジネスは今後、多かれ少なかれ全ての産業で必要になり、経営者が「最低限知っておかなければならない経営知識」となる。それを踏まえ、第1回(4/16)には「ベッパークン」が登場して人工知能搭載のロボットの可能性を学び、第4回(2/29)では、東京工科大学八王子キャンパスで、全てのシステムをクラウド導入するなど大きな改革を試みているクラウドサービスセンターを訪問した。
囲碁研究部会	今井 千晶 (㈱フタバファー スーパバイザー)	企業経営における戦略的共通点が多い囲碁を通じて大局感を身につけると共に、会員相互の交流を目的とし、首藤棋士の指導のもと計10回開催した。初級者から上級者がそれぞれ成長できるカリキュラムを用意し、最終回では、首藤棋士との対局の下、日本棋院公認の級位認定書が授与された。
スポーツ・アート振興研究部会	橋嶋 英司 (㈱シーエスサービス 代表取締役)	第2回目の「レッドオーシャンのスポーツ業界で稼ぎまくる! 常識破りの挑戦と成功の軌跡」をテーマにしたDDTプロレス高木社長の回には50名を超える参加者があった。また、マラソンの会には講師に西城氏を招いて計7回開催、3月には会員企業「わらび座」の紹介を兼ねた応援団活動を開催する等、スポーツとアートに秘められた可能性と事業性を追求した。

IV 会員数の推移				
	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末
正会員	314	303	308	316名
副会員	22	21	16	15名
総計	336	324	324	331名

事業報告附属明細書

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

該当ありません